

佳作  
(中学部門)

静岡大学教育学部附属静岡中学校 3年

池ヶ谷海 いけがや うみ

ふんばりが効く。

祖母

小学校高学年、自分の体の形が気になりだした頃、私の不格好な足が母とそっくりなことに気付き、がっかりした。友達の足は皆、すらりと細く見える。私は自分の足を見るたび、少しだが確実に気分が落ちる。ある時、祖母が私の足を見て、「大きい足だね。」と言った。嫌な気分が嫌味を返すと嬉しそうに続ける。「この足は一番いい足だよ。ふんばりが効く。」そして楽しそうにくつ下を脱いで見せてくれた祖母の足も同じ形だった。私はとどめの一撃を受けたのだが、少し嬉しくもあった。

「色々なことがあったけどこの足でふんばってきたのさ。」と言う祖母の言葉を思い出す。この不格好な祖母ゆずり母ゆずりな足でふんばっていくのも悪くない。